



NVIDIA と TomTom、自動運転車向けマッピング・システムを共同 で開発

TomTom はリアルタイムの HD マップ更新向けに NVIDIA DRIVE PX 2 を選択

2016 年 9 月 28 日 – アムステルダム – GPU テクノロジ・カンファレンス (ヨーロッパ) – マッピングおよびナビゲーションを扱うオランダのグループである TomTom ([TOM2](#)) と NVIDIA は本日、自動運転車向け Cloud-to-Car マッピング・システムを構築するための人工知能の開発に向け、提携することを発表しました。

TomTom の HD マップ対象エリアは広範囲に及び、すでに 12 万 km を超える幹線道路や高速道路に広がっていますが、この協業により、その対象エリアと [NVIDIA DRIVE™ PX 2 コンピューティング・プラットフォーム](#) が組み合わせられます。この 2 つを組み合わせたソリューションにより、幹線道路の運転に対し、車載されるリアルタイムの位置特定機能およびマッピング機能のサポートが加速されます。

NVIDIA の共同創設者兼 CEO であるジェンスン・ファン (Jen-Hsun Huang) は、初の開催となった NVIDIA の GTC Europe において、この協業を発表しました。GTC Europe は、7 年目を迎えた NVIDIA GPU テクノロジ・カンファレンス (シリコンバレーで毎年開催) の欧州地域版です。

NVIDIA のオートモティブ事業担当バイスプレジデント・統括マネージャーのロブ・チョンガー (Rob Csongor) は、次のように述べています。「自動運転車は、常に最新の HD マップをクラウドで生成できる、きわめて正確な HD マッピング・システムを必要とします。DRIVE PX 2 for AutoCruise により、TomTom には、HD マップを更新するため、車載されるリアルタイムのソースが提供されます」

[NVIDIA DriveWorks](#) ソフトウェア開発キットには、TomTom の HD マッピング環境向けサポートが組み込まれました。自律走行車を開発するすべての自動車メーカーおよびティア 1 サプライヤは、オープン・ソリューションを利用できます。

TomTom の自律走行部門を率いるウィレム・ストリボッシュ (Willem Strijbosch) 氏は、次のように述べています。「この協業は、TomTom にとって重要な一歩です。当社のきわめて正確な HD マップと NVIDIA の自動運転車プラットフォームを組み合わせれば、自動車メーカーに対して新しい機能をより迅速に提案でき、その結果、自律走行の商用化を早めることができるでしょう」

[GTC EUROPE](#) の参加者は、自動運転車の脳内で何が起きているかを目の当たりにできます。DRIVE PX 2 AI 車載コンピュータおよび NVIDIA DriveWorks ソフトウェアによる物体検知、空きスペース算出、地図上の位置特定、およびルート設定のデモンストレーションは、9 月 28 日～29 日、アムステルダムの旅客ターミナル (Passenger Terminal) ビルで開催されるイベントで公開されます。

TomTom について

TomTom (TOM2) の使命は、テクノロジーを利用しやすく、誰もがその恩恵を受けられるようにすることです。TomTom は、使いやすいナビゲーション機器を生み出し、何百万人もの人々が望むところに行けるよう支援しました。現在も引き続き、複雑なことをシンプルにして、テクノロジーを誰もがより利用しやすくなるよう努めています。TomTom には、対顧客部門として、コンシューマ、テレマティクス、オートモーティブ、ライセンス供与の 4 つがあります。

TomTom は、コンシューマ向けに、使いやすいナビゲーション機器、スポーツ・ウォッチ、アクション・カメラを生産しています。車両を使用する企業は、保有車両のより容易な管理と効率向上を実現すると同時に、テレマティクス・ソリューションを利用して全体的なビジネス・パフォーマンスの向上につなげることができます。また、世界トップレベルのリアルタイム・マッピング・プラットフォームを提供しており、ロケーション・ベースの革新的なサービスに役立つとともに、自動車業界にとっては、自動運転を実現する手段になります。

1991 年に創設され、アムステルダムに本社を置く TomTom は、4,600 名以上の従業員を擁し、世界各地で製品を販売しています。

NVIDIA についての最新情報:

公式ブログ [NVIDIA blog](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、NVIDIA に関する動画 [YouTube](#)、画像 [Flickr](#)。

NVIDIA について

1993 年以来、NVIDIA (NASDAQ: NVDA) は、ビジュアル・コンピューティングという芸術的な科学の世界をリードしてきました。ゲーミング、自動車、データセンターおよび、プロフェッショナル・ビジュアリゼーションの分野で特化したプラットフォームを提供し続けています。NVIDIA の製品は仮想現実、人工知能、自律走行車の開発においても最新の技術を提供しています。詳しい情報は、<http://nvidianews.nvidia.com/>をご覧ください。

本プレスリリースに記載されている、NVIDIA DriveWorks ソフトウェア開発キットの拡張および、NVIDIA DRIVE PX2 および NVIDIA DriveWorks ソフトウェアの公開の時期パフォーマンス、NVIDIA DRIVE PX2 の利益・可用性および、Baidu による NVIDIA DRIVE PX2 の展開は、予測とは大幅に異なる結果が生じるリスクと不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティーに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、当社製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェースの変更、システム統合時に当社製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form10-Q の 2016 年 7 月 31 日を末日とする四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類は写しが NVIDIA のウェブサイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2016 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA ロゴおよび、NVIDIA DRIVE はその他の国における NVIDIA Corporation の商標あるいは登録商標です。その他の企業名および製品名は、それぞれ各社の商標である可能性があります。機能や価格、供給状況、仕様は、予告なく変更される場合があります。